

教育課程等の概要(事前伺い)

(学校教育研究科 人間発達教育専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
共通科目	教育の歴史と教育理論の展開	1・2		2		○			1	2	1				兼2	夜隔年開講, オムニバス	
	子どもの発達と学校の関わり	1・2		2		○			2	2	1				兼1	夜隔年開講, オムニバス	
	小計(2科目)	—	0	4	0	—			3	4	2	0	0		兼3		
	教育課程の変遷と教育の課題	1・2		2		○			2	1						兼2	夜隔年開講, オムニバス
	教授・学習理論と教育評価	1・2		2		○			1							兼5	夜隔年開講, オムニバス
	児童・生徒の理解と教師の関わり	1・2		2		○			1	1						兼3	夜隔年開講, オムニバス
小計(3科目)	—	0	6	0	—			4	2	0	0	0		兼10			
専攻科目	教育コミュニケーション論	1前		2		○			1	3	2					オムニバス	
	教育コミュニケーション実践論	1後		2			○		1	3	2					チーム・ティーチング	
	教師—子ども関係の思想	1・2		2		○				1						※演習, 昼夜隔年開講	
	教えと学びの哲学	1・2		2		○					1					※演習, 昼夜隔年開講	
	教育文化の歴史	1・2		2		○			1							※演習, 昼夜隔年開講	
	教えと学びの社会学	1・2		2		○									兼1	※演習, 昼夜隔年開講	
	かかわりの発達心理学	1・2		2		○				1						※演習, 昼夜隔年開講	
	人間理解の心理学	1・2		2		○					1					※演習, 昼夜隔年開講	
	教えと学びの心理学	1・2		2		○				1						※演習, 昼夜隔年開講	
	小計(9科目)	—	0	18	0	—			1	3	2	0	0		兼1		
	地域子育て特別研究	2前	2			○			3	2		1				兼1	※演習, オムニバス
	幼年教育の理論と方法	1・2前		2		○				1							昼夜隔年開講
	幼年期の遊びと学び	1・2後		2			○			1							昼夜隔年開講
幼年教育実践の開発と評価	1・2前		2		○			1							兼1	昼夜隔年開講	
保育者の職能と社会的使命	1・2後		2			○		1							兼1	昼夜隔年開講	
子どもの発達と対人関係	1・2前		2		○			1								※演習, 昼夜隔年開講	
子どもの心理と自己の発達	1・2前		2		○				1							※演習, 昼夜隔年開講	
幼年期の心理学方法論	1・2後		2			○		1	1							昼夜隔年開講, オムニバス	
幼年期の教育発達支援論	1・2後		2			○		1	1							昼夜隔年開講, オムニバス	
幼児の生活と健康	1・2前		2		○			1								昼夜隔年開講	
幼児の生活と健康(演習)	1・2後		2			○		1								昼夜隔年開講	
幼児の生活と表現	1・2前		2		○			1								昼夜隔年開講	
幼児の生活と表現(演習)	1・2後		2			○		1								昼夜隔年開講	
小計(13科目)	—	2	24	0	—			3	2	0	1	0		兼3			
専攻科目	心理教育アセスメント	1後		2			○		5	2						※講義, オムニバス	
	心理統計研究法	1前		2			○		5	2						※講義, チーム・ティーチング	
	心理統計研究法演習	1前		2			○			1							
	生徒指導と学校教育相談	1・2		2		○			1							※演習	
	子どもの発達支援	1・2		2		○			1							※演習	
	学校臨床心理学演習	1・2		2			○		1								
	学級における人間関係の心理学	1・2		2		○				1							
	子どものメンタルヘルス	1・2前		2			○			1							※講義, 隔年開講
	情動・社会性発達論	1・2前		2		○			1								隔年開講
	情動・社会性発達支援研究	1・2後		2			○		1							兼1	※講義, 隔年開講, オムニバス
	子ども虐待の理解と支援	1・2後		2			○		1							兼1	隔年開講, オムニバス
	健康教育論	1・2前		2			○		1								※講義, 隔年開講
	衛生学・公衆衛生学研究	1・2前		2		○			1								隔年開講
	学校保健研究	1・2前		2		○			1								※演習, 隔年開講
	子どものリスクと安全教育	1・2後		2		○			1								※演習, 隔年開講
	教育・学習支援特論	1・2		2		○										兼1	※演習, 集中
社会的行動の発達心理学	1・2		2		○										兼1	※演習, 集中	
学校カウンセリング特論	1・2		2			○									兼1	※講義, 集中	
キャリアカウンセリング特論	1・2		2			○									兼1	※演習	
小計(19科目)	—	0	38	0	—			5	2	0	0	0		兼6			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
(専攻科目) (専門科目) 臨床心理学コース(専門分野)	臨床心理学の理論と方法	1	2			○			5	5	2				オムニバス
	臨床心理査定演習	1-2	4				○		3	4	2				チーム・トレーニング
	臨床心理基礎実習	1	3					○	5	5	2				チーム・トレーニング
	臨床心理実習	1-2	3					○	5	5	2				チーム・トレーニング
	臨床心理学特論	1-2	2			○			1						※演習
	力動的心理学の理論と実際	1-2	2			○				2					オムニバス
	認知行動療法・行動分析の理論と実際	1-2	2			○				1	1				オムニバス
	臨床心理統計研究法	1-2		2		○			1						
	行動分析学特論	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講
	発達障害心理臨床特論	1-2		2		○					1				昼夜隔年開講
	児童青年精神病理学	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講
	学校精神保健学特論	1-2		2		○				1					昼夜隔年開講
	トラウマ回復支援論	1-2		2		○			1						兼0
	被災・被害者の心のケア	1-2		2		○				1					昼夜隔年開講
	犯罪心理学	1-2		2		○			1						兼1 オムニバス
	投影法演習	1-2		1			○								兼1 集中
	人間性心理学の理論と実際	1-2		1		○									兼1 隔年開講, 集中
小計(17科目)		—	18	18	0		—	5	5	2	0	0		兼0	
人間発達教育専攻(総合分野)	ライフサイクルの中の学びと発達	1-2		2		○			2	2					※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	学校をめぐる連携と役割	1-2		2		○			4	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	教職員のメンタルヘルス支援	1-2		2		○			1	1					※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	小計(3科目)		—	0	6	0		—	6	4	0	0	0		
研 究 題	課題研究	1~2	8	0	0				14	12	4	1	0		
	小計(1科目)		—	8	0	0			14	12	4	1	0		
合計(67科目)			—	28	114	0		—	17	13	4	1	0		兼2B
学位又は称号	修士(学校教育学)			学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								

I 設置の趣旨

本学校教育研究科は、主として現職教員の学校教育に関する高度な研究・研鑽の機会を確保するため、修士課程として昭和55年4月に開設した。平成20年4月に同研究科に専門職学位課程(教職大学院)を開設し、現在、修士課程と専門職学位課程を合わせて4専攻で構成されている。今回、現行の修士課程3専攻11コースを3専攻9コースに改編することとし、その目的は次のとおりである。

近年、社会構造の急激な変化や価値観の多様化を反映して、子どもたちをとりまく生活環境は大きく変化し教育課題も多様化している。また、平成20年1月17日の中央教育審議会答申の「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」では、現在は新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として、飛躍的に重要性が増している知識基盤社会となってきていると指摘されている。

このような状況を踏まえ、学校教育現場においては、学力の重要な3つの要素、①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③学習意欲を育成することが強く求められており、これらに対応できる教員の養成・研修は急務であると考えられる。

本学の修士課程においては、これまで学校教育に関する実践的な教育研究の推進により、高い専門性と実践力を発揮することができる教育指導者の育成をめざしてきた。しかしながら、上述のとおり教育課題の多様化や各教科間の連携の重要性が増してきているため、それらをマクロ的な視点で捉え、総合的に教育研究することが学校現場を始めとする各方面から求められており、それに応えるため組織の再編とカリキュラムの改革を行うものである。

現行の修士課程3専攻(学校教育学専攻、特別支援教育学専攻、教科・領域教育学専攻)を廃止し、人間発達教育専攻、特別支援教育専攻及び教育内容・方法開発専攻を設置する。

人間発達教育専攻は、教育コミュニケーションコース、幼年教育コース、学校心理・発達健康教育コース及び臨床心理学コースの4コースで構成し、今日の多様化する学校教育の諸課題を踏まえ、教育学、心理学をはじめとする関連諸科学を基盤とし、学校教育を核として生涯発達や家庭・地域との連携の視点を含んだ人間の発達教育に関する総合的な教育研究を行うこととしている。

II 教育課程の編成の考え方・特色

修士課程での教育研究活動を可視化し、学生が教育研究の内容の理解をより深められるよう各専攻・コースにおける主な教育研究課題を明示することとする。また、多様化する教育課題・知識基盤社会への対応を図り、より大きな視点で教育研究ができるよう、教育課程の編成に次のような特色をもたせることとする。

【共通科目】

(1) 本学修士課程の教育課程は共通科目と専攻科目に区分され、共通科目は、「教員としての幅広い共通した高度の専門性を得させるため、教職系の科目として開設する。」としており、全ての学生が2科目4単位以上を履修することとしている。

(2) この共通科目は、現在、①人間の成長・発展に関するもの、②教育の組織・運営に関するもの、③教授・学習システムに関するもの及び④児童・生徒指導に関するものの4区分に従って開設しているが、学生の履修の状況を見ると上記の①、②の授業科目の履修者に比べ、③、④の授業科目の履修者が約2倍となっており、大きな偏りがみられる。これらのことからみると教育の基本理念的なものより、より実践的なものを履修する傾向がうかがえる。

(3) 新しいカリキュラムにおいては、教員養成の大学院の共通科目の内容として、まず、教員として身に付けるべき高度な教養や、教育学、心理学等の教員養成の基礎、基本理念となるものが必要不可欠であるとの考えから、現行の共通科目を「教職教養科目」と「教職共通科目」の2つに区分して編成することにした。

(4) 教職教養科目の位置付けは、『教員として身に付ける教養的な内容、「教育学」、「心理学」の理念・理論を扱う科目』とし、また、教職共通科目は『教員として幅広い共通した高度の専門性を得させるために必要な実践的な理論や方法論の内容を扱う科目』として、教職教養科目は2科目、教職共通科目は3科目、合計5科目を開設し、両者から1科目(2単位)以上それぞれ履修させ、バランスのとれた人材養成を行うこととしている。

【専攻科目】

(1) 現行教育課程の専攻科目には、総合科目、専門科目(専門分野)、課題研究が設定されている。このうち、総合科目については、教員の専門職としての特性を支える専門的教養を培うことを目的とし、専門諸科学の総合的な内容を教科・領域教育学専攻の5コースが主担当となって6科目を開設している。これにより、教科・領域教育学専攻の学生はもとより、学校教育学専攻及び特別支援教育学専攻の学生にとっても、教員としての幅広い専門性を修得することが可能となっている。

しかしながら、多様化する現代的な教育課題や学校現場からのニーズに対応するためには、さらに各専攻・コースが開設する専門科目や課題研究との関連性を明らかにすることなど、教育課程の一層の充実が必要である。

そのため、これまで、教科・領域教育学専攻を中心とした専門諸科学の総合的内容であった総合科目をさらに強化・改善し、各専攻・コースの教育研究内容に密接に関連した授業科目を開設することとした。

(2) 今回の改組により、各専攻・コースが専門科目の中に総合分野として授業科目を開設することで、従前の総合科目を、より専門分野を基盤にした総合的な授業科目として設定することができ、学生にとっても一層、現代的な教育課題につながる学びが可能となる。全専攻・コースで、29科目(従前の総合科目は6科目)を開設することにより、学生が自身のニーズに応じた科目履修ができるようになる。

(3) なお、具体には人間発達教育専攻においては、専門科目の総合分野の授業科目として「ライフサイクルの中の学びと発達」、「学校をめぐる連携と役割」及び「教職員のメンタルヘルス支援」の3科目を新たに開設することとした。

【課題研究】

今回の教育課程改革においては、上述のとおり学生の教育研究活動を可視化し、学生がより理解が深められるよう、各専攻・コースにおける主な教育研究課題を明示することとした。また、多様化する教育研究課題をより総合的、複合的に教育研究活動が進められるよう、総合的な教育研究課題を選択した学生には、学生の所属するコースの教員と他のコース(分野)の教員が共同して研究指導が行えるような共同指導体制をとることとしている。

卒業要件及び履修方法

授業期間等

【修了要件】

大学院修士課程の修了要件は、大学院に2年以上(長期履修学生にあっては3年以上)在学し、所定の32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格することとする。

【履修方法】

〔共通科目〕

- (教職教養科目)
2単位以上修得する。
- (教職共通科目)
2単位以上修得する。

〔専攻科目〕

- (専門科目)
 - 〈専門分野〉
自己が所属するコースで開設する専門分野の授業科目のうちから、12単位以上を修得する。
 - 〈総合分野〉
自己が所属する専攻で開設する総合分野の授業科目のうちから、2単位以上を修得する。
- (課題研究)
各自の研究課題に応じ、担当教員の指導のもとに8単位を修得する。

上記の合計単位数「26単位」と修了要件の「32単位」との差の「6単位」は、共通科目、専門科目、理数系教員養成特別プログラム対象科目、小学校英語活動プログラム対象科目、海外協力教育プログラム対象科目、日本文化理解教育プログラム対象科目及び交流科目のうちから修得するものとする。

なお、この場合の専門科目については、すべての専攻・コースで開設する授業科目のうちから履修することができるものとする。

1学年の学期区分	2学期
1学期の授業期間	15週
1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(学校教育研究科 特別支援教育専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	教育の歴史と教育理論の展開	1・2		2		○			1	2	1			兼2	夜隔年開講, オムニバス	
	子どもの発達と学校の関わり	1・2		2		○			2	2	1			兼1	夜隔年開講, オムニバス	
	小計(2科目)	—	0	4	0	—			3	4	2	0	0	兼3		
	教育課程の変遷と教育の課題	1・2		2		○			2	1					兼2	夜隔年開講, オムニバス
	教授・学習理論と教育評価	1・2		2		○			1						兼5	夜隔年開講, オムニバス
	児童・生徒の理解と教師の関わり	1・2		2		○			1	1					兼3	夜隔年開講, オムニバス
小計(3科目)	—	0	6	0	—			4	2	0	0	0	兼10			
専攻科目	特別支援教育総論	1・2		2		○			4	4	1				オムニバス	
	特別支援教育実践論	1・2		2		○			3	3					オムニバス	
	特別支援教育研究	1・2		2		○			1						隔年開講	
	特別支援教育史	1・2		2		○					1				隔年開講	
	特別支援教育課程論	1・2		2		○			1						隔年開講, オムニバス	
	聴覚障害児指導法	1・2		2		○			1						隔年開講	
	重複障害児指導論	1・2		2		○				1					隔年開講	
	肢体不自由児指導論	1・2		2		○				1					隔年開講	
	病弱児指導論	1・2		2		○				1					隔年開講	
	障害児心理学研究	1・2		2		○				2					隔年開講, オムニバス	
	聴覚障害児心理学研究	1・2		2		○			1						隔年開講	
	障害児教育基礎技能	1・2		2		○				2					隔年開講, オムニバス	
	聴覚障害児教育基礎技能	1・2		2		○			1							
	聴覚・音声検査法	1・2		2			○		2						オムニバス	
	特別支援心理学研究方法演習	1・2		2			○		1	2					オムニバス	
	障害児病理	1・2		2		○				1					隔年開講, オムニバス	
	言語病理学	1・2		2		○			1						隔年開講	
	視覚生理・病理	1・2		2		○			1						隔年開講	
	障害児保健研究	1・2		2		○				1					隔年開講	
	聴覚言語障害児臨床	1・2		2		○								兼1	隔年開講, 集中	
	障害児医学特論	1・2		2		○				1					隔年開講	
	障害児診断学	1・2		2		○								兼1	隔年開講, 集中	
	行動障害支援論	1・2		2		○				1					隔年開講	
	特別支援教育特論	1・2		2		○			1						隔年開講	
	特別支援教育方法演習	1・2		2			○		1		1				オムニバス	
	視覚障害児教育論	1・2		2		○			1						※演習	
	視覚障害児心理学特論	1・2		2		○			1						隔年開講	
	視覚障害児心理学研究	1・2		2		○			1						※演習	
	視覚障害児指導法	1・2		2		○			1	1					隔年開講, オムニバス	
	特別支援教育事例研究	1・2		2			○		3	3					オムニバス	
	障害児教育実地研究	2		3				○	3	1					※講義, ティーム・ティーチング	
小計(31科目)	—	0	63	0	—			4	4	1	0	0	兼2			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
（専攻科目） （専門科目） 特別支援教育コーディネーターコース（専門分野）	特別支援教育論	1	2			○			1		1				オムニバス	
	特別支援教育論文講読と研究方法	1	2				○		1	1	1				チーム・ティーチング	
	特別支援教育授業方法論	1・2		2		○			1	1	1				隔年開講, オムニバス	
	障害者福祉論	1・2		2		○				1					隔年開講	
	コーディネーター概論	1	2			○					1					
	コーディネーター研究	1・2		2		○			1		1				隔年開講, オムニバス	
	家族支援心理学	1		2		○				1						
	コーディネーター基礎実習	1	2					○	1	1	1				兼1	チーム・ティーチング
	コーディネーター課題実習	2	2					○	1	1	1				兼1	チーム・ティーチング
	発達障害研究	1・2		2		○			1	1					隔年開講, オムニバス	
	発達神経医学	1・2		2		○				1					隔年開講	
	学習障害児指導法演習	1	2				○			1						
	行動支援法演習	1・2		2			○			1					隔年開講	
	言語・コミュニケーション指導法演習	1・2		2			○		1						隔年開講	
	個別の指導計画演習	1	2				○								兼1	
	個別支援ケース実習	1	2					○	1	1	1				兼1	チーム・ティーチング
	個別支援アセスメント演習	1	4				○		1							
	小計(17科目)	—	20	16	0		—		3	4	1	0	0		兼4	
	特別支援教育専攻（総合分野）	障害理解と社会への啓発	1・2		2		○			2	1					隔年開講, オムニバス
		障害分野の国際協力・支援	1・2		2		○			2	1					隔年開講, オムニバス
小計(2科目)	—	0	4	0		—		4	2	0	0	0				
研 究 課	課題研究	1~2	8	0	0				4	4	1	0	0			
	小計(1科目)	—	8	0	0			4	4	1	0	0				
合計(56科目)		—	28	93	0		—	11	10	3	0	0		兼18		
学位又は称号	修士(学校教育学)			学位又は学科の分野			教育学・保育学関係									

I 設置の趣旨

本学校教育研究科は、主として現職教員の学校教育に関する高度な研究・研鑽の機会を確保するため、修士課程として昭和55年4月に開設した。平成20年4月に同研究科に専門職学位課程(教職大学院)を開設し、現在、修士課程と専門職学位課程を合わせて4専攻で構成されている。今回、現行の修士課程3専攻11コースを3専攻9コースに改編することとし、その目的は次のとおりである。

近年、社会構造の急激な変化や価値観の多様化を反映して、子どもたちをとりまく生活環境は大きく変化し教育課題も多様化している。また、平成20年1月17日の中央教育審議会答申の「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」では、現在は新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として、飛躍的に重要性が増している知識基盤社会となってきていると指摘されている。

このような状況を踏まえ、学校教育現場においては、学力の重要な3つの要素、①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③学習意欲を育成することが強く求められており、これらに対応できる教員の養成・研修は急務であると考えられる。

本学の修士課程においては、これまで学校教育に関する実践的な教育研究の推進により、高い専門性と実践力を発揮することができる教育指導者の育成をめざしてきた。しかしながら、上述のとおり教育課題の多様化や各教科間の連携の重要性が増してきているため、それらをマクロ的な視点で捉え、総合的に教育研究することが学校現場を始めとする各方面から求められており、それに応えるため組織の再編とカリキュラムの改革を行うものである。

現行の修士課程3専攻(学校教育学専攻、特別支援教育学専攻、教科・領域教育学専攻)を廃止し、人間発達教育専攻、特別支援教育専攻及び教育内容・方法開発専攻を設置する。

特別支援教育専攻は、障害科学コース及び特別支援教育コーディネーターコースの2コースで構成し、障害のある児童生徒に対する支援力を身に付けさせるため、障害者の発達とその特性の理解に基づいた支援をめざし、障害者の教育、心理、生理及び病理、指導法の教育研究を行うこととしている。また、発達障害児を支援するための個別の指導計画を作成でき、関係する諸機関との連携をコーディネートできるなど実践的能力を有する人材育成をめざした教育研究を行うこととしている。

II 教育課程の編成の考え方・特色

修士課程での教育研究活動を可視化し、学生が教育研究の内容の理解をより深められるよう各専攻・コースにおける主な教育研究課題を明示することとする。また、多様化する教育課題・知識基盤社会への対応を図り、より大きな視点で教育研究ができるよう、教育課程の編成に次のような特色をもたせることとする。

【共通科目】

(1)本学修士課程の教育課程は共通科目と専攻科目に区分され、共通科目は、「教員としての幅広い共通した高度の専門性を得させるため、教職系の科目として開設する。」としており、全ての学生が2科目4単位以上を履修することとしている。

(2)この共通科目は、現在、①人間の成長・発展に関するもの、②教育の組織・運営に関するもの、③教授・学習システムに関するもの及び④児童・生徒指導に関するものの4区分に従って開設しているが、学生の履修の状況をみると上記の①、②の授業科目の履修者に比べ、③、④の授業科目の履修者が約2倍となっており、大きな偏りがみられる。これらのことからみると教育の基本理念的なものより、より実践的なものを履修する傾向がうかがえる。

(3)新しいカリキュラムにおいては、教員養成の大学院の共通科目の内容として、まず、教員として身に付けるべき高度な教養や、教育学、心理学等の教員養成の基礎、基本理念となるものが必要不可欠であるとの考えから、現行の共通科目を「教職教養科目」と「教職共通科目」の2つに区分して編成することにした。

(4)教職教養科目の位置付けは、『教員として身に付ける教養的な内容、「教育学」、「心理学」の理念・理論を扱う科目』とし、また、教職共通科目は『教員として幅広い共通した高度の専門性を得させるために必要な実践的な理論や方法論の内容を扱う科目』として、教職教養科目は2科目、教職共通科目は3科目、合計5科目を開設し、両者から1科目(2単位)以上それぞれ履修させ、バランスのとれた人材養成を行うこととしている。

【専攻科目】

(1) 現行教育課程の専攻科目には、総合科目、専門科目(専門分野)、課題研究が設定されている。このうち、総合科目については、教員の専門職としての特性を支える専門的教養を培うことを目的とし、専門諸科学の総合的な内容を教科・領域教育学専攻の5コースが主担当となって6科目を開設している。これにより、教科・領域教育学専攻の学生はもとより、学校教育学専攻及び特別支援教育学専攻の学生にとっても、教員としての幅広い専門性を修得することが可能となっている。

しかしながら、多様化する現代的な教育課題や学校現場からのニーズに対応するためには、さらに各専攻・コースが開設する専門科目や課題研究との関連性を明らかにすることなど、教育課程の一層の充実が必要である。

そのため、これまで、教科・領域教育学専攻を中心とした専門諸科学の総合的内容であった総合科目をさらに強化・改善し、各専攻・コースの教育研究内容に密接に関連した授業科目を開設することとした。

(2) 今回の改組により、各専攻・コースが専門科目の中に総合分野として授業科目を開設することで、従前の総合科目を、より専門分野を基盤にした総合的な授業科目として設定することができ、学生にとっても一層、現代的な教育課題につながる学びが可能となる。全専攻・コースで、29科目(従前の総合科目は6科目)を開設することにより、学生が自身のニーズに応じた科目履修ができるようになる。

(3) なお、具体には特別支援教育専攻においては、専門科目の総合分野の授業科目として「障害理解と社会への啓発」及び「障害分野の国際協力・支援」の2科目を新たに開設することとした。

【課題研究】

今回の教育課程改革においては、上述のとおり学生の教育研究活動を可視化し、学生がより理解が深められるよう、各専攻・コースにおける主な教育研究課題を明示することとした。また、多様化する教育研究課題をより総合的、複合的に教育研究活動が進められるよう、総合的な教育研究課題を選択した学生には、学生の所属するコースの教員と他のコース(分野)の教員が共同して研究指導が行えるような共同指導体制をとることとしている。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2学期
【修了要件】 大学院修士課程の修了要件は、大学院に2年以上(長期履修学生にあつては3年以上)在学し、所定の32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格することとする。	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分
	【履修方法】 【共通科目】 (教職教養科目) 2単位以上修得する。 (教職共通科目) 2単位以上修得する。	
【専攻科目】 (専門科目) <専門分野> 自己が所属するコースで開設する専門分野の授業科目のうちから、12単位以上を修得する。 <総合分野> 自己が所属する専攻で開設する総合分野の授業科目のうちから、2単位以上を修得する。 (課題研究) 各自の研究課題に応じ、担当教員の指導のもとに8単位を修得する。		
上記の合計単位数「26単位」と修了要件の「32単位」との差の「6単位」は、共通科目、専門科目、理数系教員養成特別プログラム対象科目、小学校英語活動プログラム対象科目、海外協力教育プログラム対象科目、日本文化理解教育プログラム対象科目及び交流科目のうちから修得するものとする。 なお、この場合の専門科目については、すべての専攻・コースで開設する授業科目のうちから履修することができるものとする。		

教育課程等の概要(事前伺い)

(学校教育研究科 教育内容・方法開発専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目	教育の歴史と教育理論の展開	1・2		2		○			1	2	1				兼2	夜隔年開講, オムニバス	
	子どもの発達と学校の関わり	1・2		2		○			2	2	1				兼1	夜隔年開講, オムニバス	
	小計(2科目)	—	0	4	0	—			3	4	2	0	0		兼3		
	教育課程の変遷と教育の課題	1・2		2		○			2	1						兼2	夜隔年開講, オムニバス
	教授・学習理論と教育評価	1・2		2		○			1						兼5	夜隔年開講, オムニバス	
	児童・生徒の理解と教師の関わり	1・2		2		○			1	1					兼3	夜隔年開講, オムニバス	
小計(3科目)	—	0	6	0	—			4	2	0	0	0		兼10			
専攻科目	日本古代中世の歴史と文化	1・2		2		○			1							夜隔年開講	
	日本古代中世の歴史と文化(演習)	1・2		2			○		1								
	日本近世の歴史と文化	1・2		2		○				1						夜隔年開講	
	日本近世の歴史と文化(演習)	1・2		2			○			1							
	東洋の歴史と文化	1・2		2		○			1							夜隔年開講	
	東洋の歴史と文化(演習)	1・2		2			○		1								
	西洋の歴史と文化	1・2		2		○									兼1	夜隔年開講, 集中	
	西洋の歴史と文化(演習)	1・2		2			○								兼1	集中	
	都市・農村景観と空間分析	1		2		○			1							※演習, 夜隔年開講	
	地誌と地域研究	1		2		○				1						夜隔年開講	
	教育地理情報研究	1		2		○			1	1						※演習, ティーム・ティーチング	
	地域地理学の研究と教育	2		2			○		1	1						ティーム・ティーチング	
	現代の政治構造	1・2		2		○									兼1	夜隔年開講, 集中	
	現代の市場構造	1・2		2		○			1							夜隔年開講	
	現代の市場構造(演習)	1・2		2			○		1							夜隔年開講	
	グローバリゼーションと社会	1・2		2		○				1						夜隔年開講	
	グローバリゼーションと社会(演習)	1・2		2			○			1							
	グローバリゼーションと文化	1・2		2		○									兼1	※演習, 隔年開講, 集中	
	日本の文化システムと教育	1・2		2		○									兼1	隔年開講, 集中	
	現代民主主義と日本国憲法	1・2		2		○				1						夜隔年開講	
	現代民主主義と日本国憲法(演習)	1・2		2			○			1							
	現代社会の思想	1・2		2		○				1						夜隔年開講	
	現代社会の思想(演習)	1・2		2			○			1							
	思想と倫理	1・2		2		○									兼1	※演習, 集中	
	算数・数学科教材の背景と基礎	1		2		○			2	2						夜隔年開講, オムニバス	
	数と式・代数領域の算数・数学科内容論	1・2		2		○			1							昼夜隔年開講	
	図形・幾何領域の算数・数学科内容論	1・2		2		○			1	1						夜隔年開講, オムニバス	
	数量関係・解析領域の算数・数学科内容論	1・2		2		○				1						昼夜隔年開講	
	算数・数学科内容論演習	1・2		2			○		2	2						夜隔年開講, オムニバス	
	理科教科内容論Ⅰ(基礎物理学)	1・2前		2		○			1	1						昼夜隔年開講, オムニバス	
	理科教科内容論Ⅱ(物理学特論)	1・2		2		○			1								
	理科教科内容論Ⅲ(環境物質化学)	1・2前		2		○			1	1						夜隔年開講, オムニバス	
	理科教科内容論Ⅳ(機能物質化学)	1・2		2		○				1						夜隔年開講	
	理科教科内容論Ⅴ(構造生物学)	1・2前		2		○			2	1						昼夜隔年開講, オムニバス	
	理科教科内容論Ⅵ(機能生物学)	1・2後		2		○			2	1						昼夜隔年開講, オムニバス	
	理科教科内容論Ⅶ(岩石鉱物学)	1・2前		2		○			1							夜隔年開講	
	理科教科内容論Ⅷ(地質科学)	1・2前		2		○			2	1						夜隔年開講, オムニバス	
	物理学特別実験	1・2		2			○		2	1						オムニバス	
	化学特別実験	1・2		2			○		1	2						オムニバス	
	生物学特別実験	1・2		2			○		2	1						オムニバス	
	地球科学特別実験	1・2		2			○		2	1						オムニバス	
	地質調査法	1・2		2			○		1	1						ティーム・ティーチング	
小計(42科目)	—	0	84	0	—			14	12	0	0	0		兼6			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
(専攻科目) (専門科目) 区域形成系教育コース(教科教育分野)	社会系教科教育実践論	1・2		2		○			1						夜隔年開講	
	社会系教科教育カリキュラム編成論Ⅰ(地理的内容)	1・2		2		○									兼1 隔年開講	
	社会系教科教育カリキュラム編成論Ⅱ(歴史的内容)	1・2		2		○			1						夜隔年開講	
	社会系教科教育カリキュラム編成論Ⅲ(公民的内容)	1・2		2		○									兼1 隔年開講	
	社会系教科教育授業研究	1・2		2			○		2						オムニバス	
	生活科教育実践論	1・2		2		○									兼1 集中	
	算数・数学教育基礎論	1・2		2		○			1	1					オムニバス	
	算数・数学教育教授論	1・2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス	
	算数・数学教材論	1・2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス	
	理科の教育と授業	1・2		2		○			3	1					昼夜隔年開講, オムニバス	
	初等・中等理科実験演習	1・2通		4				○	2	2					オムニバス	
	理科実験実地演習	1・2通		4				○	2	2					オムニバス	
	小計(12科目)	—	0	28	0		—		9	6	0	0	0		兼3	
	区域形成系教育コース(総合分野)	多文化社会の歴史と地理	1・2		2		○			1	1					昼夜隔年開講, オムニバス
		シチズンシップと教育	1・2		2		○				2					昼夜隔年開講, オムニバス
		数学的リテラシーと算数・数学的活動	1・2		2		○			1	2					夜隔年開講, オムニバス
		科学的リテラシーの育成	1・2		2		○			2	1					昼夜隔年開講, オムニバス
		活動型理科教育の理論と実践	1・2		2			○		1	2					昼夜隔年開講, オムニバス
		人間と環境	1・2		2		○			2						昼夜隔年開講, オムニバス
		地域学習の方法と教材開発	1・2		2		○			3	1					オムニバス
学校と防災教育		1・2		2		○			1	1					昼夜隔年開講, オムニバス	
小計(8科目)	—	0	16	0		—		10	10	0	0	0				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
(専攻科目) (専門科目) 文化表現系教育コース(専門分野)	言語能力運用論	1・2後		2		○				1						※演習
	国語表現論	1・2前		2		○				1						夜隔年開講
	国語表現論演習	1・2後		2			○			1						
	日本語教育論	1・2前		2		○					1					夜隔年開講
	日本語教育論演習	1・2後		2			○				1					
	日本古典文学研究	1・2前		2		○				1						夜隔年開講
	日本古典文学研究演習	1・2後		2			○			1						
	日本近現代文学研究	1・2前		2		○				1						夜隔年開講
	日本近現代文学研究演習	1・2後		2			○			1						
	中国古典文学研究	1・2前		2		○				1						夜隔年開講
	漢字・漢文学研究演習	1・2後		2			○			1						
	児童文学研究	1・2前		2		○									兼1	隔年開講, 集中
	児童文学研究演習	1・2後		2			○								兼1	隔年開講, 集中
	英語音声学・音韻論	1・2前		2		○									兼1	隔年開講, 集中
	英語学研究	1・2後		2		○					1					※演習
	通時的英語学研究	1・2前		2		○					1					夜隔年開講
	通時的英語学研究演習	1・2後		2			○				1					
	アメリカ文化理解	1・2前		2		○				1						※演習, 夜隔年開講
	英米文化研究	1・2後		2		○				1						※演習
	英米文学研究	1・2前		2		○				1						※演習, 夜隔年開講
	イギリスの文学と社会	1・2後		2		○				1						※演習
	サウンドスケープ特論	1・2前		2		○					1					夜隔年開講
	音楽芸術文化研究	1・2前		2		○					1					
	日本音楽研究	1・2後		2		○					1					
	音楽文化史研究	1・2後		2		○									兼1	昼夜隔年開講
	日本音楽史	1・2前		2		○									兼1	
	創作表現の基礎	1・2前		2		○				1						夜隔年開講
	創作表現の応用	1・2後		2			○			1						
	実技教育の基礎論	1・2前		2		○					1					※演習
	実技教育の応用	1・2後		2			○				1					
	指揮技法の基礎と応用	1・2前		2			○								兼1	
	鍵盤楽器表現の基礎	1・2前		2			○			1					兼1	※講義, ティーム・ティーチング
	鍵盤楽器表現の応用	1・2後		2			○			1					兼1	※講義, ティーム・ティーチング
	管・弦楽器表現の基礎	1・2前		2			○					1			兼1	※講義, ティーム・ティーチング
	管・弦楽器表現の応用	1・2後		2			○					1			兼1	※講義, ティーム・ティーチング
	器楽表現教育論	1・2前		2		○				1						※演習
	邦楽器表現の基礎	1・2前		2			○								兼1	※講義
	邦楽器表現の応用	1・2後		2			○								兼1	※講義
	アジア音楽実技演習 I (雅楽)	1・2前		2			○								兼1	※講義, 隔年開講, 集中
	アジア音楽実技演習 II (ガムラン)	1・2前		2			○								兼1	隔年開講, 集中
	声楽表現の基礎	1・2前		2			○			1	1					※講義, 夜隔年開講, オムニバス
	声楽表現の応用	1・2後		2			○			1	1					※講義, 夜隔年開講, オムニバス
	絵画表現論	1・2後		2		○				1					兼1	※演習, 夜隔年開講, オムニバス
	絵画表現研究	1・2前		2				○		1					兼1	オムニバス
	版画技法研究	1・2前		2			○								兼1	隔年開講, 集中
	彫塑表現論	1・2前		2		○					1				兼1	※演習, 夜隔年開講, オムニバス
	彫塑表現研究	1・2後		2				○			1				兼1	ティーム・ティーチング
	構成・デザイン表現論	1・2前		2		○				1						※演習, 夜隔年開講
	構成・デザイン表現研究	1・2後		2				○		1						
	工芸表現論	1・2後		2		○						1				※演習, 夜隔年開講
	工芸表現研究	1・2前		2				○				1				
	美術史学・芸術学特論	1・2後		2		○					1					
	鑑賞批評論	1・2前		2		○					1					※演習, 夜隔年開講
小計(53科目)		-	0	106	0	-	-	-	11	9	2	0	0	兼17		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
(専攻科目) (専門科目) 文化表現系教育コース(教科教育分野)	国語科カリキュラム研究	1・2前		2		○			1						夜隔年開講
	国語科カリキュラム研究演習	1・2後		2			○		1						
	国語科授業実践研究	1・2前		2		○			1						夜隔年開講
	国語科授業実践研究演習	1・2後		2			○		1						
	文字の手書き行為実践研究	1・2前		2		○			1						夜隔年開講
	文字の手書き行為実践研究演習	1・2後		2			○		1						
	英語コミュニケーション授業研究	1・2後		2		○				1					※演習, 夜隔年開講
	英語科におけるカリキュラムと評価の研究	1・2後		2		○				1					※演習, 夜隔年開講
	英語教育研究法	1・2前		2		○				1					※演習
	英語教育コミュニケーション論	1・2後		2		○				1					夜隔年開講
	英語科教育史論	1・2前		2		○								兼1	隔年開講, 集中
	英語音声技能論演習	1・2後		2			○				1				
	英語アカデミックライティング	1・2前		2			○					1			
	小学校英語教育論	1・2前		2		○								兼1	集中, 夜隔年開講
	小学校英語教育論演習	1・2後		2			○							兼1	集中
	音楽科教育実践研究	1・2前		2		○			1						
	音楽科教育実践研究演習	1・2後		2			○		1						
	音楽科カリキュラム論	1・2前		2		○				1					※演習, 夜隔年開講
	音楽科カリキュラム論演習	1・2後		2		○				1					※演習, 昼夜隔年開講
	美術教育研究	1・2後		2		○								兼1	
	美術教育カリキュラム論	1・2前		2		○								兼1	夜隔年開講
	美術教育造形心理特論	1・2前		2		○				1					夜隔年開講
	美術教育情報教材特論	1・2後		2		○				1					
小計(23科目)		—	0	46	0		—		4	5	1	0	0	兼5	
文化表現系教育コース(総合分野)	日本語の仕組みと言語教育	1・2前		2		○				1					夜隔年開講
	英語の仕組みと言語教育	1・2前		2		○				1					夜隔年開講
	母語学習と外国語学習	1・2後		2		○			1						夜隔年開講
	言語の理解と表出	1・2前		2		○			1						※演習
	人間生活と芸術	1・2前		2		○				2					昼夜隔年開講, オムニバス
	総合芸術表現演習	1・2後		2			○		2						※講義, 夜隔年開講, ティーム・ティーチング
	グローバル社会における文化の表現方法	1・2後		2		○			1				兼1		昼夜隔年開講, オムニバス
	東西の表現文化	1・2前		2		○			3	2					昼夜隔年開講, オムニバス
小計(8科目)		—	0	16	0		—		7	5	0	0	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
(専攻科目)	(専門科目)	からだとの健康	1・2前	2		○			1							夜隔年開講
	健康教育論	1・2前	2			○			1							※講義, 昼夜隔年開講
	身体運動科学	1・2前	2			○			1	1						夜隔年開講, オムニバス
	身体運動科学演習	1・2後	2				○		1	1						夜隔年開講, 夜間集中, オムニバス
	スポーツ文化論	1・2前	2			○			1		1					夜隔年開講, オムニバス
	スポーツ心理学	1・2前	2			○										兼1 ※演習, 夜隔年開講, 集中
	電気・電子工学特論	1・2前	2			○			1							※演習, 夜隔年開講
	機械工学特論	1・2前	2			○										兼1 ※演習, 夜隔年開講, 集中
	計測・制御システム教材研究	1・2後	2			○			1							※演習, 夜隔年開講
	エネルギー変換教材研究	1・2前	2			○										兼1 ※演習, 夜隔年開講, 集中
	材料加工教材研究	1・2前	2			○										兼1 ※演習, 夜隔年開講, 集中
	食生活の科学と文化	1・2前	2			○			1							昼夜隔年開講
	食生活科学実験	1・2後	2					○	1							兼1 昼夜隔年開講, オムニバス
	衣生活の科学と文化	1・2前	2			○				1						昼夜隔年開講
	衣生活科学演習	1・2前	2				○			1						昼夜隔年開講
	栄養・食品科学の考え方と生活への応用	1・2後	2			○				1						兼1 ※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	家族と文化・社会	1・2前	2			○				1						※演習, 昼夜隔年開講
	ジェンダーの国際比較研究	1・2後	2			○				1						※演習, 昼夜隔年開講
	生活環境と応用材料学	1・2後	2			○										兼1 昼夜隔年開講
	住生活の科学と文化	1・2	2			○										兼1 ※演習, 昼夜隔年開講, 集中
	教育情報コミュニケーション特論	1・2前	2			○				1						※演習, 夜隔年開講
	情報活用実践論	1・2後	2			○			1							※演習, 夜隔年開講
	情報のモラル教育と学校のセキュリティ	1・2	2			○										兼1 ※演習, 夜隔年開講, 集中
	教育情報工学特論	1・2後	2			○						1				※演習, 夜隔年開講
	教育情報ネットワーク活用特論	1・2後	2			○				2						※演習, 夜隔年開講, オムニバス
	情報教育法特論	1・2前	2			○			1							※演習, 夜隔年開講
	総合学習情報教育特論	1・2後	2			○				1						※演習, 夜隔年開講
	情報教育環境開発特論	1・2前	2			○				1						※演習, 夜隔年開講
小計(28科目)		—	0	56	0		—	7	7	1	1	0			兼8	
(教科教育分野)	保健体育科教育論	1前	2			○			1							夜隔年開講
	保健体育科教材論	1後	2			○			1							夜隔年開講
	保健体育授業研究	1前	2			○				1						夜隔年開講
	技術教育基礎論	1・2前	2			○				1						※演習, 夜隔年開講
	技術教育カリキュラム論	1・2後	2			○				2						※演習, 夜隔年開講, ティーム・ティーチング
	技術教育授業研究	1・2前	2			○				2						※演習, 夜隔年開講, オムニバス
	応用生活科学教材論	1・2後	2			○				2						※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	家庭科授業研究	1・2前	2			○				1						※演習, 夜隔年開講
小計(8科目)		—	0	16	0		—	1	6	0	0	0				
(総合分野)	スポーツと人間性の回復	1・2後	2			○			1	1						※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	地域スポーツの運営と課題	1・2後	2			○					1					兼1 ※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	子どもの健康と運動	1・2後	2			○			2	1						※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	情報化社会と生活	1・2	2			○			2	1						※演習, 夜隔年開講, オムニバス
	教育の情報化とICT活用	1・2	2			○			1	4		1				※演習, 夜隔年開講, オムニバス
	食育の考え方と進め方	1・2後	2			○			2							兼1 ※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	生活・自然環境のとらえ方と環境教育	1・2前	2			○			1	1						兼2 ※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
	生活スタイルと健康科学	1・2後	2			○			2	2						※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス
小計(8科目)		—	0	16	0		—	7	9	1	1	0			兼3	
課題研究	1~2	8	0	0				40	37	4	1	0				
小計(1科目)		—	8	0	0			40	37	4	1	0				
合計(196科目)		—	8	394	0		—	44	42	6	1	0			兼55	
学位又は称号	修士(学校教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係										

I 設置の趣旨

本学校教育研究科は、主として現職教員の学校教育に関する高度な研究・研鑽の機会を確保するため、修士課程として昭和55年4月に開設した。平成20年4月に同研究科に専門職学位課程(教職大学院)を開設し、現在、修士課程と専門職学位課程を合わせて4専攻で構成されている。今回、現行の修士課程3専攻11コースを3専攻9コースに改編することとし、その目的は次のとおりである。

近年、社会構造の急激な変化や価値観の多様化を反映して、子どもたちをとりまく生活環境は大きく変化し教育課題も多様化している。また、平成20年1月17日の中央教育審議会答申の「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」では、現在は新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として、飛躍的に重要性が増している知識基盤社会となってきたと指摘されている。

このような状況を踏まえ、学校教育現場においては、学力の重要な3つの要素、①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③学習意欲を育成することが強く求められており、これらに対応できる教員の養成・研修は急務であると考えられる。

本学の修士課程においては、これまで学校教育に関する実践的な教育研究の推進により、高い専門性と実践力を発揮することができる教育指導者の育成をめざしてきた。しかしながら、上述のとおり教育課題の多様化や各教科間の連携の重要性が増してきているため、それらをマクロ的な視点で捉え、総合的に教育研究することが学校現場を始めとする各方面から求められており、それに応えるため組織の再編とカリキュラムの改革を行うものである。

現行の修士課程3専攻(学校教育学専攻、特別支援教育学専攻、教科・領域教育学専攻)を廃止し、人間発達教育専攻、特別支援教育専攻及び教育内容・方法開発専攻を設置する。

教育内容・方法開発専攻は、認識形成系教育コース、文化表現系教育コース及び行動開発系教育コースの3コースで構成し、学校教育における教育内容のあり方について教育研究を行う。本来、教育内容とは社会・言語・科学・技術・芸術・スポーツなど人間が長い年月をかけて培ってきた多様な文化や生活の様式を児童・生徒の発達段階に即して「学びの対象」として編成したものである。したがって、教育内容は文化や生活の様式などの客体的内容が、児童・生徒の内面的な条件との統合によって、認識・表現・行動の各能力として主体化されるものである。本専攻では、このような児童・生徒の陶冶性に基づく教育内容・方法を開発するための教育研究を行うこととしている。

II 教育課程の編成の考え方・特色

修士課程での教育研究活動を可視化し、学生が教育研究の内容の理解をより深められるよう各専攻・コースにおける主な教育研究課題を明示することとする。また、多様化する教育課題・知識基盤社会への対応を図り、より大きな視点で教育研究ができるよう、教育課程の編成に次のような特色をもたせることとする。

【共通科目】

(1)本学修士課程の教育課程は共通科目と専攻科目に区分され、共通科目は、「教員としての幅広い共通した高度の専門性を得させるため、教職系の科目として開設する。」としており、全ての学生が2科目4単位以上を履修することとしている。

(2)この共通科目は、現在、①人間の成長・発展に関するもの、②教育の組織・運営に関するもの、③教授・学習システムに関するもの及び④児童・生徒指導に関するものの4区分に従って開設しているが、学生の履修の状況を見ると上記の①、②の授業科目の履修者に比べ、③、④の授業科目の履修者が約2倍となっており、大きな偏りがみられる。これらのことからみると教育の基本理念的なものより、より実践的なものを履修する傾向がうかがえる。

(3)新しいカリキュラムにおいては、教員養成の大学院の共通科目の内容として、先ず、教員として身に付けるべき高度な教養や、教育学、心理学等の教員養成の基礎、基本理念となるものが必要不可欠であるとの考えから、現行の共通科目を「教職教養科目」と「教職共通科目」の2つに区分して編成することにした。

(4)教職教養科目の位置付けは、『教員として身に付ける教養的な内容、「教育学」、「心理学」の理念・理論を扱う科目』とし、また、教職共通科目は『教員として幅広い共通した高度の専門性を得させるために必要な実践的な理論や方法論の内容を扱う科目』として、教職教養科目は2科目、教職共通科目は3科目、合計5科目を開設し、両者から1科目(2単位)以上それぞれ履修させ、バランスのとれた人材養成を行うこととしている。

【専攻科目】

(1) 現行教育課程の専攻科目には、総合科目、専門科目(専門分野、教科教育分野)、課題研究が設定されている。このうち、総合科目については、教員の専門職としての特性を支える専門的教養を培うことを目的とし、専門諸科学の総合的な内容を教科・領域教育学専攻の5コースが主担当となって6科目を開設している。これにより、教科・領域教育学専攻の学生はもとより、学校教育学専攻及び特別支援教育学専攻の学生にとっても、教員としての幅広い専門性を修得することが可能となっている。しかしながら、多様化する現代的な教育課題や学校現場からのニーズに対応するためには、さらに各専攻・コースが開設する専門科目や課題研究との関連性を明らかにすることなど、教育課程の一層の充実が必要である。

そのため、これまで、教科・領域教育学専攻を中心とした専門諸科学の総合的な内容であった総合科目をさらに強化・改善し、各専攻・コースの教育研究内容に密接に関連した授業科目を開設することとした。

(2) 今回の改組により、各専攻・コースが専門科目の中に総合分野として授業科目を開設することで、従前の総合科目を、より専門分野を基盤にした総合的な授業科目として設定することができ、学生にとっても一層、現代的な教育課題につながる学びが可能となる。全専攻・コースで、29科目(従前の総合科目は6科目)を開設することにより、学生が自身のニーズに応じた科目履修ができるようになる。

(3) なお、具体には教育内容・方法開発専攻の社会系教育分野と自然系教育分野で構成する認識形成系教育コースでは、「多文化社会の歴史と地理」や「科学的リテラシーの育成」などの8科目を、言語系教育分野と芸術系教育分野で構成する文化表現系教育コースでは、「母語学習と外国語学習」や「人間生活と芸術」などの8科目を、またスポーツ健康系教育分野と応用生活系教育分野で構成する行動開発系教育コースでは、「スポーツと人間性の回復」や「情報化社会と生活」などの8科目をそれぞれ専門科目の総合分野の授業科目として開設することとした。

【課題研究】

今回の教育課程改革においては、上述のとおり学生の教育研究活動を可視化し、学生がより理解が深められるよう、各専攻・コースにおける主な教育研究課題を明示することとした。また、多様化する教育研究課題をより総合的、複合的に教育研究活動が進められるよう、総合的な教育研究課題を選択した学生には、学生の所属するコースの教員と他のコース(分野)の教員が共同して研究指導が行えるような共同指導体制をとることとしている。

(専 攻 科 目)	授業期間等	
	1学年の学期区分	2学期
1学期の授業期間	15週	
1時限の授業時間	90分	
【修了要件】 大学院修士課程の修了要件は、大学院に2年以上(長期履修学生にあつては3年以上)在学し、所定の32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格することとする。		
【履修方法】 【共通科目】 (教職教養科目) 2単位以上修得する。 (教職共通科目) 2単位以上修得する。		
【専攻科目】 (専門科目) <専門分野> 自己が所属するコースで開設する専門分野の授業科目のうちから、8単位以上を修得する。 <教科教育分野> 自己が所属するコースで開設する教科教育分野の授業科目のうちから、4単位以上を修得する。 <総合分野> 自己が所属する専攻で開設する総合分野の授業科目のうちから、2単位以上を修得する。 (課題研究) 各自の研究課題に応じ、担当教員の指導のもとに8単位を修得する。		
上記の合計単位数「26単位」と修了要件の「32単位」との差の「6単位」は、共通科目、専門科目、理数系教員養成特別プログラム対象科目、小学校英語活動プログラム対象科目、海外協力教育プログラム対象科目、日本文化理解教育プログラム対象科目及び交流科目のうちから修得するものとする。 なお、この場合の専門科目については、すべての専攻・コースで開設する授業科目のうちから履修することができるものとする。		

教育課程等の概要(事前伺い)

(学校教育研究科 学校教育学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人間の発達と教育の理念	1-2		2		○			1	3	2				夜隔年開講, オムニバス
	学校経営と学級経営	1-2		2		○								兼2	夜隔年開講, オムニバス
	教育課程と教授・学習理論	1-2		2		○								兼2	夜隔年開講, オムニバス
	生徒指導と教育臨床	1-2		2		○			1	1				兼3	夜隔年開講, オムニバス
	小計(4科目)	—	0	8	0	—	—	—	2	4	2	0	0	兼7	
総合科目	ことばと文化	1-2		2		○			3	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	社会と資源	1-2		2		○			3						昼夜隔年開講, オムニバス
	人類と科学技術	1-2		2		○			3	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	芸術と風土	1-2		2		○				3					昼夜隔年開講, オムニバス
	生活と健康	1-2		2		○								兼2	昼夜隔年開講, オムニバス
	学校と防災教育	1-2		2		○			2					兼1	昼夜隔年開講, オムニバス
	小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	11	5	0	0	0	兼3	
専門科目 (教育コミュニケーション)	教育コミュニケーション論	1-2		2		○			1	3	2				オムニバス
	教育コミュニケーション実践論	1-2		2			○		1	3	2				チーム・ティーチング
	教育文化の歴史	1-2		2		○			1						※演習, 昼夜隔年開講
	教えと学びの社会学	1-2		2		○								兼1	※演習, 昼夜隔年開講, 集中
	教師—子ども関係の思想	1-2		2		○				1					※演習, 昼夜隔年開講
	教えと学びの哲学	1-2		2			○				1				※講義, 昼夜隔年開講
	大人と子どもの発達心理学	1-2		2		○				1					※演習, 昼夜隔年開講
	パーソナリティ形成とコミュニケーションの心理学	1-2		2		○					1				※演習, 昼夜隔年開講
	教えと学びの心理学	1-2		2			○			1					※講義, 昼夜隔年開講
	小計(9科目)	—	0	18	0	—	—	—	1	3	2	0	0	兼1	
専門科目 (幼児教育)	幼児児童教育実践研究法	1-2		2			○		3	2					※講義, オムニバス
	地域子育て特別研究	1-2		2		○			3	2				兼1	※演習, オムニバス
	幼児児童教育思想研究	1-2		2		○				1					昼夜隔年開講
	幼児児童教育思想研究演習	1-2		2			○			1					昼夜隔年開講
	幼児児童教育課程開発研究	1-2		2		○								兼1	昼夜隔年開講
	幼児児童教育課程開発研究演習	1-2		2			○							兼1	昼夜隔年開講
	幼児児童心理学研究Ⅰ	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講
	幼児児童心理学研究Ⅱ	1-2		2		○				1					昼夜隔年開講
	幼児児童心理学方法論演習	1-2		2			○		1	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	幼児児童発達臨床演習	1-2		2			○		1	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	幼児児童教育内容健康論	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講
	幼児児童教育内容健康論演習	1-2		2			○		1						昼夜隔年開講
	幼児児童教育内容表現論	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講
	幼児児童教育内容表現論演習	1-2		2			○		1						昼夜隔年開講
小計(14科目)	—	0	28	0	—	—	—	3	2	0	0	0	兼2		
専門科目 (学校心理学)	学校心理学特論Ⅰ	1-2		2		○			1						※演習, 夜隔年開講
	学校心理学特論Ⅱ	1-2		2		○			1						※演習, 夜隔年開講
	学校心理学特論Ⅲ	1-2		2		○				1					※演習
	学校心理学特論Ⅳ	1-2		2		○				1					※演習, 夜隔年開講
	心理統計研究法	1-2		2			○		2	2					※講義, チーム・ティーチング
	心理統計研究法演習	1-2		2			○			1					
	心理教育アセスメント	1-2		2			○		2	2					※講義, オムニバス
	キャリアカウンセリング特論	1-2		2		○								兼1	昼夜隔年開講
	教育発達援助論	1-2		2		○								兼1	集中
	発達障害援助論	1-2		2		○								兼1	※演習, 隔年開講
	スクールカウンセリング特論	1-2		1		○								兼1	※演習, 隔年開講, 集中
	スクールカウンセリング演習	1-2		2			○		1						※講義, 夜隔年開講
学校臨床心理学演習	1-2		1			○							兼1	集中	
教育・学習支援特論	1-2		2		○				1					昼夜隔年開講	
心理教育コンサルテーション特論	1-2		1			○							兼1	※講義, 集中	
コミュニティ心理学特論	1-2		1			○							兼1	※講義, 集中	
小計(16科目)	—	0	28	0	—	—	—	2	2	0	0	0	兼7		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
(専攻科目)	(専門科目)	臨床心理学コース(専門分野)	臨床心理学特論Ⅰ	1-2	2		○			2	1	1				※演習, オムニバス	
			臨床心理学特論Ⅱ	1-2	2			○		1							※講義
			トラウマ回復支援論	1-2	2		○			1							兼B ※演習
			犯罪心理学	1-2	1		○										兼A ※演習, 集中
			心理療法Ⅰ	1-2	2			○			1	1					※講義, オムニバス
			心理療法Ⅱ	1-2	2			○				2					兼A ※講義, オムニバス
			行動分析学特論	1-2	2		○			1							※演習, 昼夜隔年開講
			発達障害心理臨床特論	1-2	2		○						1				※演習, 昼夜隔年開講
			児童青年精神病理学	1-2	2		○			1							※演習, 昼夜隔年開講
			学校精神保健特論	1-2	2		○				1						※演習, 昼夜隔年開講
			心理統計研究法	1-2	2			○		1							※講義
			臨床心理査定演習	1-2	4			○		3	3	2					兼A ティーム・ティーチング
			臨床心理基礎実習	1	3				○	5	5	2					兼A ティーム・ティーチング
			臨床心理実習	2	3				○	5	5	2					兼A ティーム・ティーチング
			心理療法特論演習	1-2	1			○									兼A 隔年開講, 集中
			投影法特論演習	1-2	1			○									兼A 集中
			被災・被害者の心のケア	1-2	2			○			1						※演習, 昼夜隔年開講
		小計(17科目)	—	0	35	0	—	5	5	2	0	0		兼B			
研 究 題		課題研究	1~2	8	0	0			11	12	4	1	0				
		小計(1科目)	—	8	0	0			11	12	4	1	0				
		合計(67科目)	—	8	129	0	—	22	18	4	1	0		兼28			
学位又は称号	修士(学校教育学)		学位又は学科の分野				教育学・保育学関係										

教育課程等の概要(事前伺い)

(学校教育研究科 特別支援教育学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人間の発達と教育の理念	1-2		2		○			1	3	2				夜隔年開講, オムニバス
	学校経営と学級経営	1-2		2		○								兼2	夜隔年開講, オムニバス
	教育課程と教授・学習理論	1-2		2		○								兼2	夜隔年開講, オムニバス
	生徒指導と教育臨床	1-2		2		○			1	1				兼3	夜隔年開講, オムニバス
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			2	4	2	0	0	兼7	
専攻科目	総合科目														
	ことばと文化	1-2		2		○			3	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	社会と資源	1-2		2		○			3						昼夜隔年開講, オムニバス
	人類と科学技術	1-2		2		○			3	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	芸術と風土	1-2		2		○				3					昼夜隔年開講, オムニバス
	生活と健康	1-2		2		○								兼2	昼夜隔年開講, オムニバス
	学校と防災教育	1-2		2		○			2					兼1	昼夜隔年開講, オムニバス
小計(6科目)	—	0	12	0	—			11	5	0	0	0	兼3		
専門科目	心身障害児学(専門分限)														
	特別支援教育総論	1-2		2		○			4	4	1				夜隔年開講, オムニバス
	特別支援教育実践論	1-2		2		○			1	1				兼2	集中, オムニバス
	特別支援教育研究	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講
	特別支援教育史研究	1-2		2		○					1				隔年開講
	特別支援教育課程論	1-2		2		○			1					兼1	隔年開講, オムニバス
	聴覚障害児指導法	1-2		2		○			1						隔年開講
	重複障害児指導論	1-2		2		○				1					隔年開講
	肢体不自由児指導論	1-2		2		○				1					隔年開講
	病弱児教育論	1-2		2		○				1					隔年開講
	障害児心理学研究	1-2		2		○				2					隔年開講, オムニバス
	聴覚障害児心理学研究	1-2		2		○			1						隔年開講
	障害児教育基礎技能	1-2		2		○			1	2					隔年開講, オムニバス
	聴覚障害児教育基礎技能	1-2		2		○			1						
	聴覚・音声検査法	1-2		2			○		2						オムニバス
	特別支援心理学研究方法演習	1-2		2			○		1	2					オムニバス
	障害児病理	1-2		2		○			1	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	言語病理学	1-2		2		○			1						隔年開講
	視覚生理・病理	1-2		2		○			1						隔年開講
	障害児保健研究	1-2		2		○				1					隔年開講
	聴覚言語障害児臨床	1-2		2		○								兼1	隔年開講, 集中
	障害児医学特論	1-2		2		○				1					隔年開講
	障害児診断学	1-2		2		○								兼1	隔年開講, 集中
	行動障害支援論	1-2		2		○				1					隔年開講
	特別支援教育特論	1-2		2		○			1						隔年開講
	特別支援教育方法演習	1-2		2			○		1		1				オムニバス
	視覚障害児教育論	1-2		2		○			1						※演習
	視覚障害児心理学特論	1-2		2		○			1						隔年開講
	視覚障害児心理学研究	1-2		2		○			1						※演習
	視覚障害児指導法	1-2		2		○			1	1					隔年開講, オムニバス
	特別支援教育臨床演習	1-2		2			○			3					チーム・ティーチング
	特別支援教育事例研究Ⅰ	1-2		2			○		3	3					オムニバス
	特別支援教育事例研究Ⅱ	1-2		2			○		3	3					オムニバス
障害児教育実地研究	1-2		3				○	3	1					※講義, 集中, チーム・ティーチング	
小計(33科目)	—	0	67	0	—			4	4	1	0	0	兼5		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考							
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手								
(専攻科目) (専門科目) 特別支援教育	特別支援教育論	1-2	2			○			1		1									オムニバス	
	特別支援教育論演習	1-2	2				○		1	1	1									チーム・ティーチング	
	特別支援教育情報処理	1-2	2				○		1												
	特別支援教育授業方法論	1-2	2				○		1	1	1										隔年開講, オムニバス
	障害者福祉論	1-2	2				○				1										隔年開講
	コーディネーター概論	1-2	2				○					1									夜隔年開講
	コーディネーター研究	1-2	2				○		1		1										隔年開講, オムニバス
	家族支援心理学	1-2	2				○														兼1 集中
	コーディネーター基礎実習	1-2	2					○	1	1	1										兼2 チーム・ティーチング
	コーディネーター課題実習	1-2	2					○	1	1	1										兼2 チーム・ティーチング
	発達障害研究Ⅰ(LD,ADHD)	1-2	2				○		1												隔年開講
	発達障害研究Ⅱ(自閉症スペクトラム)	1-2	2				○				1										隔年開講
	発達神経医学	1-2	2				○				1										隔年開講
	学習障害児指導法演習	1-2	2					○													兼1 集中
	行動支援法演習	1-2	2					○			1	1									隔年開講, チーム・ティーチング
	言語・コミュニケーション指導法演習	1-2	2					○		1											隔年開講
	個別の指導計画演習	1-2	2					○													兼1 集中
	個別支援ケース実習	1-2	2					○	1	1	1										兼2 チーム・ティーチング
	個別支援アセスメント演習	1-2	4					○	1												兼1
	小計(19科目)		—	0	40	0		—		3	3	2	0	0							
研究 実題	課題研究	1~2	8	0	0				4	4	1	0	0								
	小計(1科目)	—	8	0	0				4	4	1	0	0								
合計(63科目)		—	8	127	0		—		16	11	4	0	0								兼19
学位又は称号	修士(学校教育学)	学位又は学科の分野			教育学・保育学関係																

教育課程等の概要(事前伺い)

(学校教育研究科 教科・領域教育学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人間の発達と教育の理念	1・2		2		○			1	3	2				夜隔年開講, オムニバス
	学校経営と学級経営	1・2		2		○									兼2 夜隔年開講, オムニバス
	教育課程と教授・学習理論	1・2		2		○									兼2 夜隔年開講, オムニバス
	生徒指導と教育臨床	1・2		2		○			1	1					兼3 夜隔年開講, オムニバス
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			2	4	2	0	0		兼7
専攻科目 総合科目	ことばと文化	1・2		2		○			3	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	社会と資源	1・2		2		○			3						昼夜隔年開講, オムニバス
	人類と科学技術	1・2		2		○			3	1					昼夜隔年開講, オムニバス
	芸術と風土	1・2		2		○				3					昼夜隔年開講, オムニバス
	生活と健康	1・2		2		○									兼2 昼夜隔年開講, オムニバス
	学校と防災教育	1・2		2		○			2						兼1 昼夜隔年開講, オムニバス
	小計(6科目)	—	0	12	0	—			11	5	0	0	0		兼3
専攻科目 言語系コース(専門分野)	言語生活論	1・2		2		○				1					夜隔年開講
	言語生活論演習	1・2		2			○			1					
	国語表現史論	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	国語表現史論演習	1・2		2			○		1						
	日本語教育論	1・2		2		○				1					夜隔年開講
	日本語教育論演習	1・2		2			○			1					
	古典文学論	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	古典文学論演習	1・2		2			○		1						
	近代文学論	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	近代文学論演習	1・2		2			○		1						
	児童文学研究	1・2		2		○									兼1 隔年開講, 集中
	児童文学研究演習	1・2		2			○								兼1 ※講義, 隔年開講, 集中
	漢文学研究	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	漢文学研究演習	1・2		2			○		1						
	心理言語学	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	英語学基礎論	1・2		2		○				1					夜隔年開講
	英語学と英語教育	1・2		2		○				1					
	英語学特論	1・2		2		○				1					夜隔年開講
	英語学特論演習	1・2		2			○			1					
	英語アカデミックライティング	1・2		2		○					1				昼夜隔年開講
	英米文化研究	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	アメリカ文化理解	1・2		2		○			1						※講義
	英米文学表現論	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	イギリス文化論	1・2		2		○			1						※講義, 昼間集中
	小学校英語教育論	1・2		2		○									兼2 夜隔年開講, 集中
	小学校英語教育論演習	1・2		2			○								兼1
小計(26科目)	—	0	52	0	—			7	4	1	0	0		兼3	
言語系コース(教科教育分野)	国語科教育特論A	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	国語科教育特論演習A	1・2		2			○		1						兼1 オムニバス
	国語科教育特論B	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	国語科教育特論演習B	1・2		2			○		1						
	書写教育論	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	書写教育論演習	1・2		2			○		1						
	英語科授業論	1・2		2		○				1					夜隔年開講
	英語学習と対話研究	1・2		2		○				1					
	英語科カリキュラム・デザイン論	1・2		2		○				1					夜隔年開講
	英語科評価論	1・2		2		○				1					
	英語科教育史論	1・2		2		○									兼1 隔年開講
	言語習得論	1・2		2		○			1						夜隔年開講
	英語音声技能論演習	1・2		2			○				1				
	英語教育コミュニケーション論	1・2		2		○				1					夜隔年開講
	英語教育研究法	1・2		2			○			1					※講義
小計(15科目)	—	0	30	0	—			4	3	1	0	0		兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
(専攻科目)	(専門科目)	社会系コース(専攻分科)	日本古代・中世史研究	1-2	2		○			1						夜隔年開講	
			日本古代・中世史研究演習	1-2	2			○		1							
			日本近世史研究	1-2	2		○				1						夜隔年開講
			日本近世史研究演習	1-2	2			○			1						
			東洋史研究	1-2	2		○			1							夜隔年開講
			東洋史研究演習	1-2	2			○			1						
			西洋史研究	1-2	2		○										兼2 夜隔年開講, 集中
			西洋史研究演習	1-2	2			○									兼1 集中
			地域地理学研究法	1-2	1				○		1	1					チーム・ティーチング
			都市・農村地域論	1-2	2		○				1						夜隔年開講
			都市・農村地域論演習	1-2	2			○			1						
			地誌学特論	1-2	2		○					1					夜隔年開講
			地誌学特論演習	1-2	2			○				1					
			日本政治史研究	1-2	2		○				1						夜隔年開講
			日本政治史研究演習	1-2	2			○			1						
			日本国憲法論	1-2	2		○										兼2 夜隔年開講
			日本国憲法論演習	1-2	2			○									兼1
			経済理論	1-2	2		○				1						夜隔年開講
			経済理論演習	1-2	2			○			1						
			公共政策論	1-2	1		○										兼1 隔年開講, 集中
			地域社会論	1-2	2		○					1					※演習, 夜隔年開講
			地域社会論実験	1-2	1				○			1					
			社会構造論	1-2	2		○										兼1 ※演習, 夜隔年開講, 集中
			日本社会の文化システム	1-2	1		○										兼1 隔年開講
			哲学思想研究	1-2	2		○					1					夜隔年開講
			哲学思想研究演習	1-2	2			○				1					
			倫理思想研究	1-2	2			○									兼1 ※講義, 集中
			民主主義の理念と現実	1-2	2		○				1	1					隔年開講, オムニバス
小計(28科目)		-	0	52	0		-	5	4	0	0	0	0	兼9			
社会系コース(兼攻教育分科)	(専攻科目)	社会系コース(兼攻教育分科)	社会科教育論	1-2	2		○			1						夜隔年開講	
			社会科教材開発演習	1-2	2			○		1							
			歴史教育論	1-2	2		○				1						※演習, 夜隔年開講
			地理教育論	1-2	2		○				1						※演習, 夜隔年開講
			公民教育論	1-2	2		○										兼1 隔年開講, 集中
			生活科教育特論	1-2	1		○										兼1 集中
小計(6科目)		-	0	11	0		-	3	0	0	0	0	0	兼2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
() 専攻科目 () 専門科目 () 自然系コース () 専門分野 ()	数学的思考と科学的思考	1-2		2		○			2						オムニバス
	算数・数学教科内容論Ⅰ(数と式・代数領域)	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講
	算数・数学教科内容論Ⅱ(図形・幾何領域)	1-2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス
	算数・数学教科内容論Ⅲ(数量関係・解析領域)	1-2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス
	数学特別研究Ⅰ	1-2		2			○		3	2					夜隔年開講, オムニバス
	数学特別研究Ⅱ	1-2		2			○		3	2					夜隔年開講, オムニバス
	理科教科内容論Ⅰ(基礎物理学)	1-2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス
	理科教科内容論Ⅱ(物理学特論)	1-2		2		○			1						夜隔年開講
	理科教科内容論Ⅲ(環境物質化学)	1-2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス
	理科教科内容論Ⅳ(機能物質化学)	1-2		2		○				1					夜隔年開講
	理科教科内容論Ⅴ(植物科学)	1-2		2		○			1						夜隔年開講
	理科教科内容論Ⅵ(動物科学)	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講
	理科教科内容論Ⅶ(岩石鉱物学)	1-2		2		○			1						夜隔年開講
	理科教科内容論Ⅷ(地質科学)	1-2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス
	物理学特別実験	1-2		1				○	2	1					オムニバス
	化学特別実験	1-2		1				○	1	2					オムニバス
	生物科学特別実習	1-2		1				○	1	1					オムニバス
	地球科学特別実習	1-2		1				○	2	1					オムニバス
	地質調査法	1-2		1				○	1	1					集中, ティーム・ティーチング
	自然科学特論	1-2		1		○									兼1 隔年開講, 集中
小計(20科目)		-	0	34	0		-	10	7	0	0	0	0	兼1	
() 自然系コース () 専攻科目 () 専門分野 ()	数学教育特論Ⅰ	1-2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス
	数学教育特論Ⅱ	1-2		2		○			1	1					夜隔年開講, オムニバス
	数学教材開発研究	1-2		2		○			1	1					兼1 夜間集中, オムニバス
	理科教育実践研究Ⅰ	1-2		2			○		1	1					※講義, 夜隔年開講, ティーム・ティーチング
	理科教育実践研究Ⅱ	1-2		2			○		1						※講義, 夜隔年開講
	理科教材開発研究Ⅰ	1-2		2			○		1	1					※講義, 夜隔年開講, オムニバス
	理科教材開発研究Ⅱ	1-2		2			○		1	2					※講義, 昼夜隔年開講, オムニバス
	理科教育特論	1-2		1		○									兼1 隔年開講
小計(8科目)		-	0	15	0		-	5	5	0	0	0	0	兼2	
() 芸術系コース () 専門分野 ()	ピアノ技法論Ⅰ	1-2		2			○		1						夜隔年開講
	ピアノ技法論Ⅱ	1-2		2			○		1						兼1 夜隔年開講, ティーム・ティーチング
	ピアノ技法論Ⅲ	1-2		2			○		1						
	ピアノ技法論Ⅳ	1-2		2			○		1						
	管・弦技法論Ⅰ	1-2		2			○				1				兼1 夜隔年開講, 夜間集中, オムニバス
	管・弦技法論Ⅱ	1-2		2			○				1				兼1 オムニバス
	ソルフェージュ実技教育論	1-2		2		○				1					夜隔年開講
	ソルフェージュ実技教育演習	1-2		2			○			1					
	邦楽技法論Ⅰ	1-2		2			○								兼1
	邦楽技法論Ⅱ	1-2		2			○								兼1
	声楽技法論Ⅰ	1-2		2			○		1	1					夜隔年開講, 夜間集中, オムニバス
	声楽技法論Ⅱ	1-2		2			○		1	1					オムニバス
	作曲理論	1-2		2		○			1						夜隔年開講
	作曲演習	1-2		2			○		1						
	指揮技法論	1-2		2			○								兼1 夜隔年開講, 集中
	音楽史論	1-2		2		○				1					夜隔年開講
	音楽美学	1-2		2		○				1					
	アジア音楽実技演習Ⅰ	1-2		2			○								兼1 隔年開講, 集中
	アジア音楽実技演習Ⅱ	1-2		2			○								兼1 隔年開講, 集中
	日本音楽史	1-2		2		○									兼1 夜隔年開講, 昼間集中
	絵画技法論演習	1-2		2			○		1						兼1 夜隔年開講, オムニバス
	絵画実技研究	1-2		2				○	1						兼1 オムニバス
	版画実技研究	1-2		2				○							兼1 隔年開講
	彫塑技法論演習	1-2		2			○		1						夜隔年開講
	彫塑実技研究	1-2		2				○		1					兼1 ティーム・ティーチング
	デザイン技法論演習	1-2		2				○							兼2 夜隔年開講, 集中
	デザイン実技研究	1-2		2				○	1						
	工芸技法論演習	1-2		2				○			1				昼夜隔年開講
	工芸実技研究	1-2		2				○							兼1 隔年開講, 集中
	美術史学・芸術学特論	1-2		2		○				1					
小計(30科目)		-	0	60	0		-	5	5	2	0	0	0	兼12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
芸術系コース(専攻科目)	音楽科教育特論	1-2		2		○			1						夜隔年開講	
	音楽教育学研究	1-2		2		○				1					夜隔年開講	
	音楽教育学演習	1-2		2			○		1	1					夜隔年開講, オムニバス	
	美術科教育論	1-2		2		○								兼1	夜隔年開講	
	美術科教育内容・方法論	1-2		2		○								兼1	※演習, 夜隔年開講	
	美術科教育評価論	1-2		2		○				1					※演習	
	絵画教育論	1-2		2			○		1						※講義	
	彫塑教育論	1-2		2			○							兼1	※講義	
	構成教育論	1-2		2		○			1						※演習	
	工芸教育論	1-2		2		○					1				※演習	
	鑑賞教育論	1-2		2			○			1					※講義, 夜隔年開講	
小計(11科目)		—	0	22	0	—			3	3	1	0	0	兼3		
生活・健康系コース(専門分限)	体育・スポーツ文化研究 I	1-2		2		○					1				※演習, 夜隔年開講	
	体育心理学研究	1-2		2		○								兼1	※演習, 夜隔年開講, 昼間集中	
	体育経営・管理学研究	1-2		2		○								兼1	夜隔年開講, 集中	
	体育・スポーツ文化研究 II	1-2		2			○		1					兼1	※講義, 夜隔年開講, オムニバス	
	保健体育学研究法	1-2		2		○			1						夜隔年開講	
	運動生理学研究	1-2		2		○			1						夜隔年開講	
	身体運動理論	1-2		2		○				1					夜隔年開講	
	運動方法理論演習 I(トレーニング)	1-2		2			○		1	1					夜隔年開講, 夜間集中, オムニバス	
	運動方法理論演習 II(スポーツ)	1-2		2			○							兼1	夜隔年開講	
	運動方法理論演習 III(ダンス)	1-2		2			○							兼1	夜隔年開講, 集中	
	運動方法理論演習 IV(野外活動)	1-2		2			○		1						夜隔年開講	
	衛生学・公衆衛生学研究	1-2		2		○								兼1	夜隔年開講	
	疫病学及び病理学研究	1-2		2		○								兼1	夜隔年開講	
	学校保健研究	1-2		2		○								兼1	※演習, 夜隔年開講	
	健康教育論	1-2		2		○								兼2	※演習, 夜隔年開講, オムニバス	
	ライフスタイルと健康	1-2		2			○		1	1					兼2	昼夜隔年開講, オムニバス
	健康運動実践論	1-2		2		○			1						※演習, 夜隔年開講	
	電気工学基礎・応用論	1-2		2		○			1						隔年開講	
	電気工学基礎・応用論実習	1-2		1			○		1						隔年開講	
	電子工学基礎・応用論	1-2		2		○			1						隔年開講	
	電子工学基礎・応用論実習	1-2		1			○		1						隔年開講, 夜間集中	
	計測・制御論	1-2		2		○			1						昼夜隔年開講	
	情報処理論	1-2		2		○			1						夜隔年開講	
	情報処理論実習	1-2		1			○			1					夜隔年開講	
	機械設計論	1-2		2		○								兼1	集中	
	機械設計論実習	1-2		1			○							兼1	集中	
	エネルギー変換論	1-2		2		○								兼1	夜隔年開講, 集中	
	エネルギー変換論実習	1-2		1			○							兼1	夜隔年開講, 集中	
	材料加工論	1-2		2		○								兼2	夜隔年開講, 夜間集中, オムニバス	
	材料加工論実習	1-2		1			○							兼2	夜隔年開講, オムニバス	
	金属材料学	1-2		2		○								兼1	夜隔年開講, 夜間集中	
	栄養・食品学研究	1-2		2		○				1					兼1	昼夜隔年開講, オムニバス
	食生活研究	1-2		2		○			1						兼1	昼夜隔年開講
	食生活研究実践	1-2		2			○		1						兼1	昼夜隔年開講, オムニバス
	生活環境材料学	1-2		2		○								兼1	隔年開講	
	衣生活研究	1-2		2		○				1					夜隔年開講	
	衣生活研究演習	1-2		2			○			1					昼夜隔年開講, 夜間集中	
	住生活研究	1-2		2		○								兼1	隔年開講, 集中	
	育児学研究	1-2		2		○			1						夜隔年開講	
	家族関係学研究	1-2		2		○				1					夜隔年開講	
	生活福祉学研究	1-2		2		○				1					※演習, 昼夜隔年開講	
	情報教育法特論 I	1-2		2			○		1						※講義, 昼夜隔年開講	
	情報教育法特論 II	1-2		2			○			1					※講義	
	教育情報活用特論	1-2		2			○			1					※講義, 昼夜隔年開講	
	総合学習情報特論	1-2		2			○					1			※講義, 昼夜隔年開講	
	情報教育環境開発論	1-2		2			○		1						※講義, 昼夜隔年開講	
	環境教育授業実践特論 I	1-2		2		○			3						※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス	
環境教育授業実践特論 II	1-2		2		○			1					兼1	※演習, 夜隔年開講, オムニバス		
環境問題学習法特論	1-2		2		○			1						兼1	※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス	
生活環境教育特論	1-2		2			○							兼1	※講義, 昼夜隔年開講		
環境認識教育特論	1-2		2		○				2					※演習, 昼夜隔年開講, オムニバス		
小計(51科目)		—	0	96	0	—			13	9	1	1	0	兼18		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
(専攻科目) (専門科目) 生活・健康系コース(教育分野)	保健体育科教育論	1-2	2			○			1						夜隔年開講
	保健体育授業実践論	1-2	2			○			1						兼1 夜隔年開講, オムニバス
	体育科教材論	1-2	2			○			1						夜隔年開講
	体育科教材論演習	1-2	2				○		1						兼1
	体育授業研究	1-2	2			○									夜隔年開講
	技術科教育論	1-2	2			○				2					夜隔年開講, オムニバス
	技術科教育論演習	1-2	2				○			2					夜隔年開講, ティーム・ティーチング
	技術科教材論	1-2	2			○			1						夜隔年開講
	技術科教材論演習	1-2	2				○		1						夜隔年開講
	家庭教育・授業論	1-2	2			○			1						※演習, 夜隔年開講
	生活科学教材論	1-2	2				○			2					※講義, 昼夜隔年開講, オムニバス
	地域環境教育論	1-2	2			○									兼1 隔年開講, 集中
小計(12科目)		-	0	24	0				1	5	0	0	0	兼3	
研究類	課題研究	1~2	8	0	0				43	35	4	1	0		
	小計(1科目)		-	8	0	0			43	35	4	1	0		
合計(218科目)			-	8	416	0			46	39	6	1	0	兼65	
学位又は称号	修士(学校教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係									